

(2) クルーズ機能

クルーズ需要の拡大に応じ、受入環境の整備を進め、令和6年もクルーズ船の寄港回数が日本一になるなど、日本を代表するクルーズ拠点となっている。

[乗降人員の推移]

単位：人

H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
1,692,853	1,611,553	1,363,029	90,450	0	698	129,912	952,484

※R6年は速報値

[寄港回数の推移]

単位：回

区分	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
寄港回数	326	279	229	14	0	2	75	204
外国船社	309	263	205	14	0	0	59	193
日本船社	17	16	24	0	0	2	16	11

※R6年は速報値

[旅客施設(クルーズセンター)]

外観	施設内の状況
	
概要	
供用：平成27年5月（築10年） 延床面積：約2,900㎡（待合棟：約1,400㎡、C I Q棟：約1,500㎡） 機能：待合空間、管理室、C I Q（入国ブース数：20）等	
関連施設	
交通広場、観光バス待機場 等	

[主な課題]

《他港を起終点とし、博多港に寄港するクルーズ》

- ・クルーズ客が寄港地観光をするためのタクシーや観光バスがクルーズセンターに集中し、コンテナヤードに出入りする物流車両との輻輳が生じている。
- ・クルーズ客等の歩行者とコンテナヤードに出入りする物流車両との輻輳が生じている。



(コンテナヤード出入口付近の状況[R7.8])



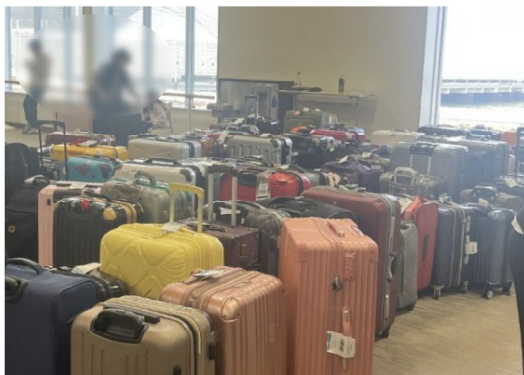
(コンテナヤード出入口付近の状況[R7.8])



《博多港を起終点とするクルーズ》

- ・寄港するクルーズとは異なり、スーツケース等の荷物の預入れ・受渡しの対応が必要であり、クルーズセンターのスペースが不足している。
- ・乗船手続き待ちのクルーズ客が集中する時間帯には、クルーズセンター屋外での待機が生じている。

(荷物の預入れ状況[R7.1])



(乗船手続き待ちの状況[R7.1])



(3) 国内定期機能

志賀島、玄界島とを結ぶ市営渡船、壱岐・対馬、五島とを結ぶジェットfoilやフェリー等が就航する国内定期航路は、通勤・通学、物資輸送の面から市民や離島住民の生活を支える航路となっている。

[運航状況]

博多小頭第1ターミナル	航路	運営	便数	所要時間
	志賀島	市	日15便	約30分
	玄界島		日7便	約35分
	壱岐・対馬	民間	日4便	約2時間15分
	海の中道		日4～11便	約20分

博多小頭第2ターミナル	航路	運営	便数	所要時間
	壱岐・対馬	民間	日3便	約4時間40分
	対馬		日1便	約4時間55分
	五島		日1便	約8時間30分

[市営渡船(志賀島・玄界島)及び離島航路(壱岐・対馬、五島)の乗降人員の推移]

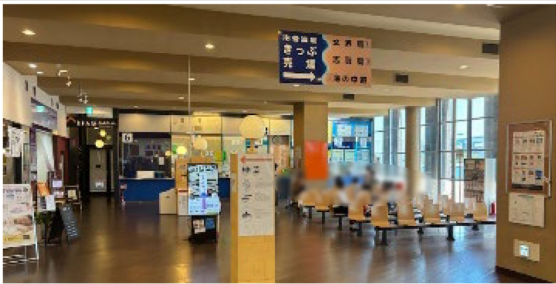
単位：人

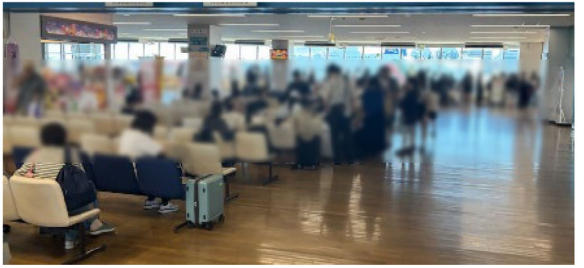
区分	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
乗降人員	1,047,815	1,071,698	1,086,104	613,281	553,891	717,611	885,294	898,077
市営渡船	243,208	246,461	254,949	168,930	166,453	194,609	226,763	233,980
離島航路	804,607	825,237	831,155	444,351	387,438	523,002	658,531	664,097

※海の中道航路を除く

※R6年は速報値

[旅客施設(博多小頭第1・第2ターミナル)]

博多小頭第1ターミナル	外観	施設内の状況
		
	概要	
	バイサイドプレイス博多(民間施設)の一部をターミナルとして使用 供用：平成3年6月(築34年) 延床面積：約800㎡(市が使用している面積)※ ※別途民間が使用している箇所あり 機能：チケット販売所(市営渡船等)、待合空間、事務所等	
	関連施設	
	交通広場 等	

博多ふ頭第2ターミナル	外観	施設内の状況
		
	概要	
	供用 : 昭和50年7月(築50年) 延床面積: 約3,300㎡ 機能 : チケット販売所(離島航路)、待合空間、船社事務所、上屋、売店、飲食店等	
	関連施設	
	交通広場、上屋(築50年)等	

[主な課題]

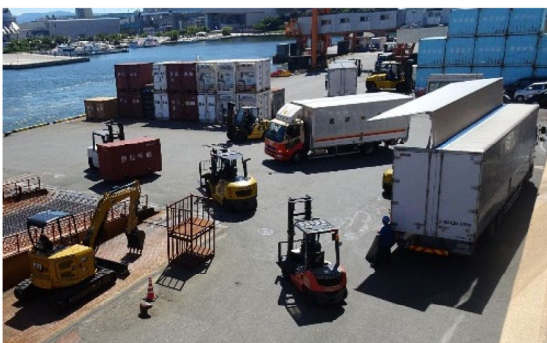
- ・上屋の天井高が低いため、トラックが乗り入れて荷役作業を行うことに制約を受けている。
- ・岸壁背後ヤードが狭隘であるため、トラックやフォークリフト等による荷役作業が輻輳している。
- ・博多ふ頭第2ターミナル及び上屋は築50年が経過し、老朽化している。



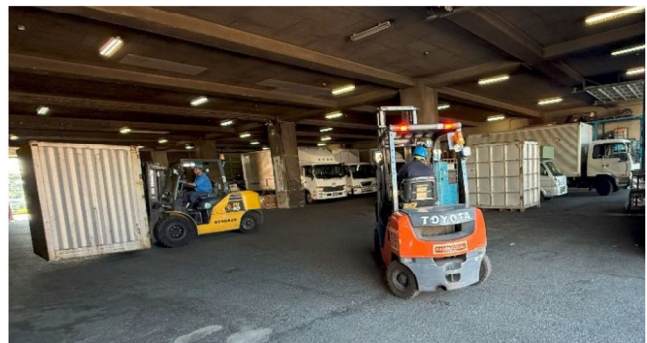
(トラックの荷さばき状況(R7.7))



(荷役作業の輻輳状況(R7.7))



(上屋内状況(R7.8))



3 今後の進め方

中央ふ頭・博多ふ頭地区における人流機能の課題を踏まえ、速やかに今後の方向性について整理する。